

クマの生態と 私たちの暮らし

豊かな森に囲まれ、清らかな水に恵まれた盛岡は、クマの生息地が身近に存在する環境にあります。

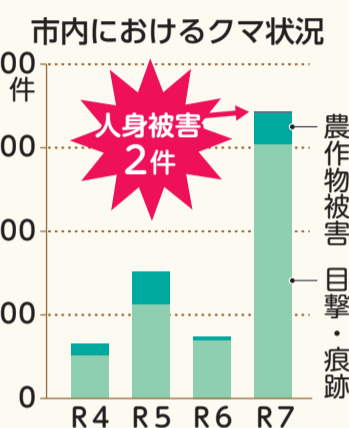
クマと人がより良い関係を保ちながら共に暮らしていくためには、クマについて学び、適切な距離を保つことが大切です。

クマの生態や行動を正しく理解し、思わぬ被害の発生を防ぎましょう。

【問】環境企画課 ☎613-8419

令和7年度のクマ出没状況と増加の要因

令和7年度の市内でのクマの出没件数は687件に上り、過去最多であった令和5年度の約2倍でした。人身被害も2件発生するなど、極めて注意すべき状況となっています。



秋の主食であるブナの実（どんぐり）の大凶作
クマの食べ物となるブナの実などは、凶作と豊作を一定周期で繰り返すため、凶作の年には山の食べ物が不足してしまいます。

里山での人口減少や人々の暮らしの変化
人間による里山の利用が減少し手入れされない土地が増えたことで、クマが身を隠しながら移動しやすくなり、市街地に近い里山へと生息域が広がっています。

ツキノワグマの活動圏が人里近くまで広がり、すみ分けを難しくしている

ツキノワグマってどんな生き物？

日本には北海道にのみヒグマが生息し、本州と四国の一部地域にはツキノワグマが生息しています。

- 目** 視力は悪め。
- 耳** 聴覚が敏感。
- 鼻** 優れた嗅覚で数分先のにおいが分かる。
- 足** 前足が後ろ足より長く、石を動かしたり木に登ったりでき、100mを約10秒で走ることができる。爪が鋭い。
- 性格** 臆病な性格。学習能力が高い。
- 行動** ヤブなどの見通しの悪い場所を好んで移動する。
- 体重** オス 平均66kg、メス 平均47kg ※100kgを超える個体もいます
- 体高** 平均50〜60cm
- 頭胴長** オス 平均140cm、メス 平均120cm

クマの1年

春 (3~5月)	夏 (6~8月)	秋 (9~11月)	冬 (11~12月)
冬眠から目覚める時期です。山菜採りでの遭遇が増えます。 食べ物: 木の新芽、山菜	子別れと繁殖の時期で、広範囲に移動します。農村地帯への出没が増えます。 食べ物: 昆虫、果実類	冬眠に向け、大量に食べ物を摂取します。 食べ物: 脂肪分の多いブナなどの木の实	冬眠を始めます。また、この時期に出産します。

盛岡市のクマ対策

市の対応

市は、クマの目撃情報があった際、情報発信やパトロールを行っています。また、実際にクマの出没が確認された場合には、警察や猟友会と連携し、追い払いや捕獲などの対応をします。捕獲は、法律で定められた要件や現場の状況から、わなや麻酔、緊急銃猟など複数ある方法から適切な方法を選

クマ出没時の対応

折し、弾の跳ね返りやクマの逃走などにより捕獲対応者や周辺に危険が及ばないよう、安全を確保しながら慎重に実施します。実施にあたっては、安全確保のため、通行制限や屋内への退避をお願いすることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

鳥獣被害対策実施隊の取り組み

鳥獣被害を防止するため、市は「盛岡市鳥獣被害対策実施隊」を設置し、捕獲活動や防除対策などに取り組んでいます。実施隊は地域の推薦を受けた猟友会員で構成されており、農地などでの捕獲活動(わなの設置と巡回)やクマ出没時のパトロールをしています。



環境学習講座

ボードゲームを通してクマの生態と対策を学ぶ講座などを開催しています。



参加者募集中の講座はこちら

クマの情報を発信しています！

盛岡市LINE公式アカウント

二次元コードを読み取り、盛岡市を友だち追加してください。



登録はこちら

いわてモバイルメール

二次元コードを読み取り後、空メールを送信すると、「登録メール」が届きます。



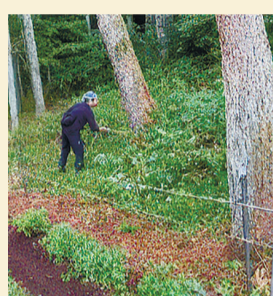
登録はこちら

二次元コードが読み取れない場合は、市ホームページから登録をお願いします。【広報ID】1054518

地域の取り組み

出没防止対策 猪去の取り組み

鳥獣被害の多い猪去地区では、自治会が、市・若手大・猟友会に呼びかけ、出没防止対策を始め、地区一帯の電気柵整備や定期的な除草活動(緩衝帯整備)を行っています。



被害に遭わないための予防策

誘引物は必ず撤去する



クマは家庭ごみや廃棄物などにも引き寄せられ、一度味を覚えると、その場所に何度もやってきます。生ごみや廃棄する野菜・果物など、エサになるものは絶対に外に放置しない。

草刈りで見通しの良い環境を作る



森林や森林のそばの農地、河川敷はクマが出没しやすいので特に注意が必要です。低木や雑草を刈り払うことで、クマが身を隠せる場所がなくなり、人里に近づきにくくなる。

クマから身を守る行動を

- クマに存在を知らせる。クマは臆病な生き物。音で人の存在を知らせることが大切です。
- クマ鈴や話し声も有効な対策。
- 入山の際は複数人で行動を。
- クマスプレーはホームセンターなどで購入できる。
- 子連れに注意。子連れのクマは子どもを守るため、攻撃的です。
- 子グマの近くには母グマが必ずいると思って、注意して行動する。

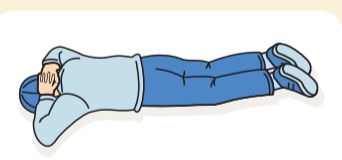
もし遭遇してしまったら

落ちて目を見つめず、静かに距離を取りましょう。背中を向けたり、走って逃げたりしない。



攻撃されそうになったら

顔を攻撃してくることが多いため、防衛が必要です。うつ伏せになり、首の後ろに手を回し、顔と頭部を守る。



クマを目撃、痕跡を発見したら

- クマを目撃またはフンなどの痕跡を発見した場合は、身の安全を確保したうえで、次のとおり通報してください。
- 通報時は、下記の事項を確認しますのでご協力をお願いします。

- 目撃日時
- 場所
- クマの大きさ
- 頭数
- 逃げた方向
- 被害の有無
- 通報者の氏名と連絡先

通報先 110番 または 651-4111 (市役所代表電話)

市長コラム

近年、クマの出没件数が全国的に増加し、当市でも同様の傾向が見られます。県内では本年度に入り、複数の人身被害が発生しています。市長として、市民の暮らしを守ることを最優先に、強い危機感のもと、市を挙げてクマ対策に取り組んでいます。被害を防ぐためには、クマの生態や行動を正しく理解し、予防策を講じることが大切です。市民の皆さんも、日頃からできる対策にご協力いただきますようお願いいたします。



盛岡市長 内舘 茂